

人権相談・啓発等事業 委託先候補者選定委員会 議事要旨

1 日時及び場所

○第1回委員会 平成27年2月4日(水)午後2時30分から午後3時30分

○第2回委員会 平成27年3月19日(木)午前10時から12時

どちらも開催場所は大阪府議会会館1階 談話室

2 審査方法

あらかじめ定められた審査基準(公募要領に記載)に基づき、書類審査及びプレゼンテーション審査を実施し、選定委員会の各委員(3名)の評価をもとに、合議により総合評価を行い、最優秀提案事業者として選定する。

3 審査対象者(提案事業者)

次の2者からの応募を事務局(府人権局)で受け付けた。(応募受付順に表示)

- ・公益財団法人大阪YWCA
- ・一般財団法人大阪府人権協会

4 議事概要

○ 第1回委員会の議事は次のとおり。

- ・委員長の選任
- ・会議の公開・非公開に関する審議

(本委員会で審議する内容が、大阪府情報公開条例第8条第1項第1号及び第4号の規定に該当する情報に関するものであるため、非公開とすることで決定)

○ 第2回委員会では、公募要領等での公示にあたり事務局から仕様書の内容及び審査基準を中心に公募要領の内容を説明し、各委員との質疑応答が行われた。また、審査基準をもとに採点や講評を行うための評価方法の細部事項を委員会で確認した。

○ 第2回委員会では、公募要領で定められた審査基準等に基づき、提案事業者から提出された企画提案やプレゼンテーションの内容を審査し、事業の目的に最も合致した企画・技術能力等を有する事業者の選定を行った。

具体的な審査方法については、以下のとおり。

(1) 書類審査

- ・企画提案書に基づき、委員が評価。(なお、企画提案書は事前に事務局から各委員あて送付していた。)

(2) プレゼンテーション審査

- ・提案内容について提案事業者がそれぞれ20分間のプレゼンテーションを実施。
- ・プレゼンテーションの後、委員から提案事業者への質疑が行われた。

(なお、書類審査及びプレゼンテーション審査では、提案内容をより公正に審査できるようにするため、企画提案書における提案事業者の名称、代表者氏名等を非表示として「事業者1」「事業者2」と表示・呼称し、審査を行った。)

【委員から提案事業者への主な質問の内容】

- ・ 想定している相談員のキャリアについて
- ・ 府民向け相談事業の開設時間について
- ・ 人権相談事業における専門家との連携における連携体制について
- ・ 人材養成事業で提案されたカリキュラム案におけるフィールドワークやワークショップに対する運営方法や評価基準について
- ・ 複合的な問題を抱えている相談者へのアプローチについて
- ・ 提案内容のアピールポイントについて
- ・ 提案事業者としてのPDCAサイクルの運用方法について

5 審査結果

【最優秀提案事業者の評価点】

総合評価点 (満点100点)	企画提案部分 (満点80点)	価格提案部分 (満点20点)	提案金額
82点	63点	19点	130,762,000円

※応募者が2者であったため、次点者の評価点及び提案金額は公表しない。

【講評ポイント】

◆最優秀提案事業者の選定理由

- ・ 事業全体にわたって具体的な提案となっている。
- ・ PDCAサイクルを活用し、次年度の事業の改善に生かそうとしている。
- ・ 事業間の連携策が具体的に考えられている。
- ・ 当事者団体や支援団体との連携が重層的に考えられている。
- ・ 人権問題が複合化し、解決が困難になってきているという認識に立って、企画立案されている。

5 選定委員会委員

氏名	所属・職名	選任理由
堀川 智子	ライオン橋法律事務所 弁護士	人権擁護にも精通しており、法律の専門家として公平公正の観点を有する者として、大阪弁護士会の推薦により選任。
森田 英嗣	大阪教育大学教育学部 教授	教育・人材養成に精通するとともに、人権分野に見識を有する者として、大阪教育大学の推薦により選任。
吉田 敦彦	大阪府立大学地域保健学域教育福祉学類 教授	人間尊重の社会の実現に貢献できる知性の育成について深い見識を有する者として、大阪府立大学の推薦により選任。

《五十音順》